

《同時発表》

中国地方整備局、笠岡市



令和2年2月14日

港湾局産業港湾課

## 「みなとオアシス笠岡諸島」を登録します ～悠久の時間が流れる、瀬戸内海に浮かぶ「日本遺産の離島」！～

国土交通省港湾局は、令和2年2月22日に「みなとオアシス笠岡諸島」（岡山県笠岡市）を港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」に登録します。

代表施設である「笠岡諸島交流センター」等において、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われ、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながることを期待されています。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシス笠岡諸島」の登録により「みなとオアシス」は全国137箇所になります。（同時付で「みなとオアシスさの（栃木県佐野市）」も登録）
- 2月22日（土）は「みなとオアシス登録証交付式」が行われるとともに、「日本遺産認定記念シンポジウム」が開催されます。なお、詳細についてはこちら（<https://ishinoshima.site/>）からご確認下さい。（参加無料）

### 「みなとオアシス笠岡諸島」のポイント!!

- ★代表施設「笠岡諸島交流センター」は、笠岡諸島の玄関口として、年間11万人の利用者が訪れており、観光案内や特産品販売を行うなど、船を待つ人々の交流・情報発信拠点となっています！
- ★笠岡諸島の多くは日本遺産「石の島」に認定されており、日本有数の石材産地である北木島で石の歴史や文化、魅力を伝える「K's LABO」のストーンミュージアムなどみどころ満載！
- ★5月上旬に行われる「真鍋島走り神輿」は、真鍋島の八幡神社御祓い受けた3体の神輿を島の若者が担ぎ、早さを競うお祭り！神輿が漁船にのって上陸し島の通りを駆け抜ける場面が最大の見せ場です！



【代表施設】笠岡諸島交流センター



K's LABO（北木島）



走り神輿（真鍋島）

※「みなとオアシス」の関連情報については、下記URLからもご覧いただけます。

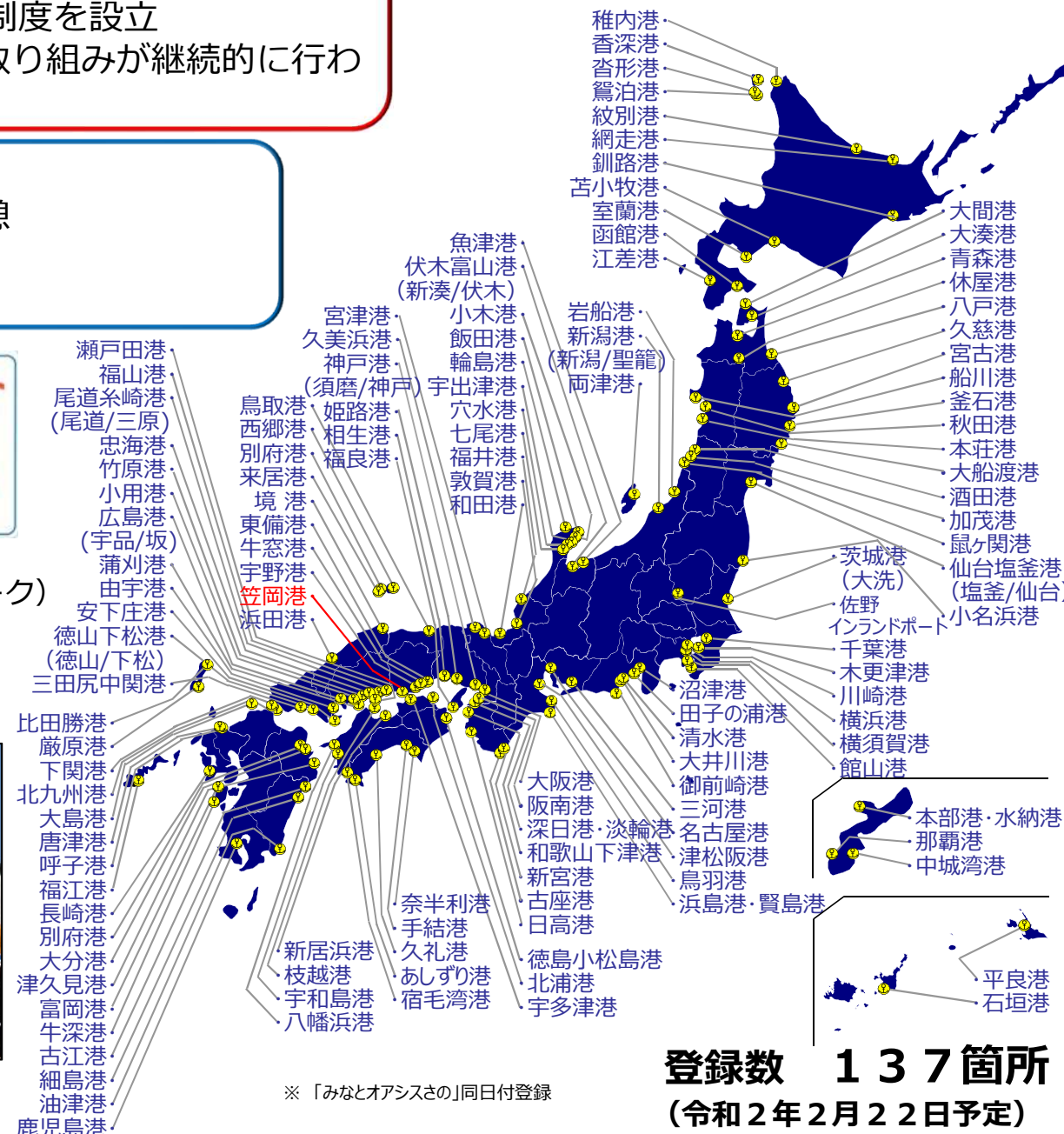
- ・国土交通省港湾局HP：[http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_tk1\\_000001.html](http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000001.html)
- ・一般社団法人ウォーターフロント協会HP：<http://www.waterfront.or.jp/oasisu/about.html>

＜問い合わせ先＞ 港湾局 産業港湾課 担当：柳、黒木

Tel:03-5253-8111（内線46-452、46-453）

03-5253-8673（直通） Fax:03-5253-1651

## みなとオアシス所在港湾の一覧



標章 (シンボルマーク)

### ○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

### ○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他 (災害時の支援、商業機能 など)

### ○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など

### ○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体 (港湾管理者含む)
- ・NPO団体、協議会 など



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

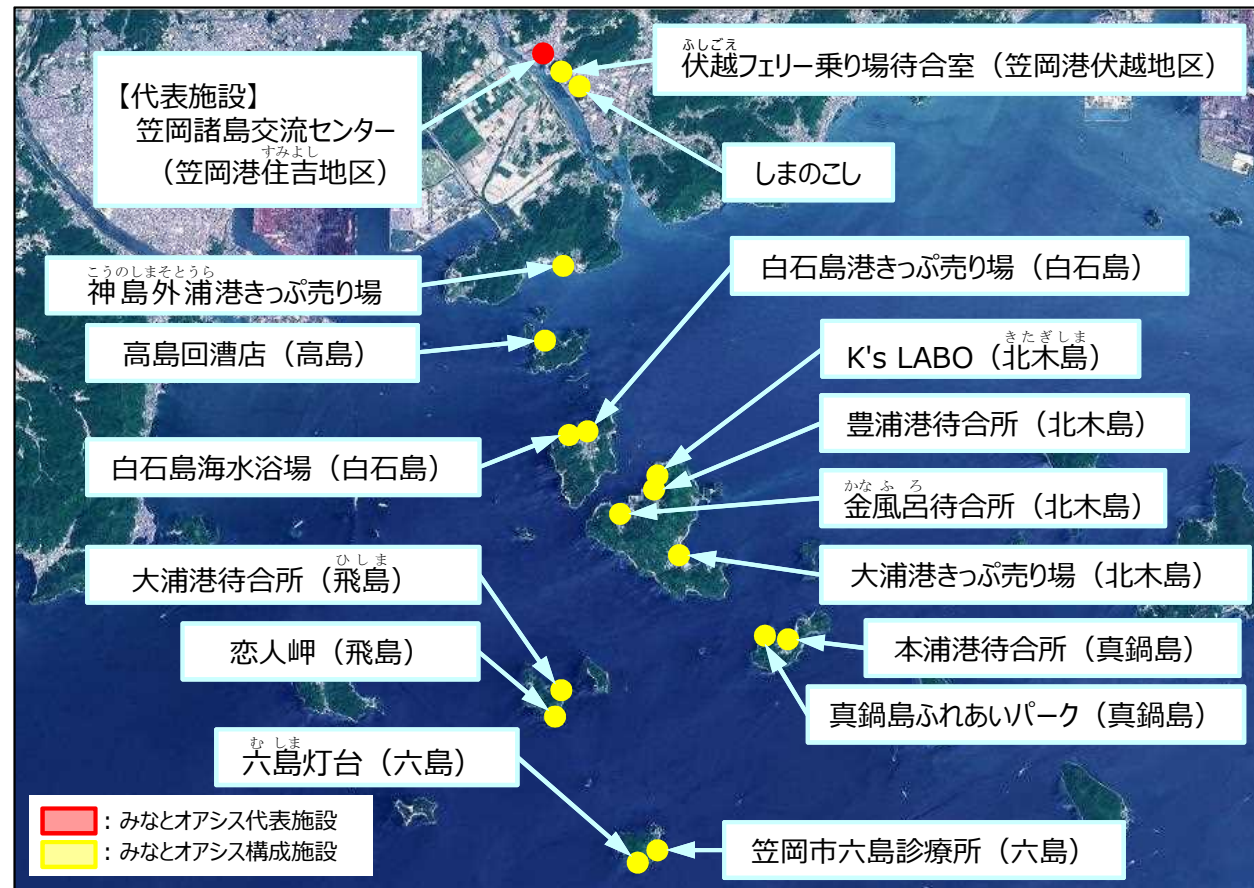
※ 「みなとオアシス」の同日付登録

登録数 **137箇所**  
(令和2年2月22日予定)





国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成



## 【基本情報】

|       |   |
|-------|---|
| 設置者   | 笠岡市   |
| 運営者   | 笠岡市   |
| 所在港湾  | 笠岡港、北木島港、豊浦港、小飛鳥港、<br>おおおら、おおびしま、まえうら<br>大浦港、大飛鳥港、前浦港 |
| 港湾管理者 | 岡山県・笠岡市   |
| 登録日   | 令和2年2月22日   |

## 【代表施設】



笠岡諸島交流センター

## 【主なイベント】



北木島流し雛フェスティバル



真鍋島走り神輿ツアー



笠岡港まつり花火大会



# みなとオアシス笠岡諸島の特徴

大小31の島々からなる笠岡諸島。そのうち有人7島はそれぞれが特色のある島々です。島間に橋は無く、船で繋がる離島の魅力を是非体験してみてください！

## 漁師とつじの島「高島」

笠岡市笠岡港から約8km沖合の、笠岡諸島の最北端に位置する高島は、古くから瀬戸内海航路の要衝として栄えたといわれ、古事記に記されている神武天皇東征の際の高島行宮が置かれた島、という説もあります。



## 祈りとマリンスポーツの島「白石島」

周囲約10kmの笠岡諸島で2番目に大きい白石島は、古来有名な風光明媚の地であり、国指定の名勝にもなっています。お盆に行われる国指定重要無形民俗文化財の「白石踊」は源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったと伝えられており、全国的にも非常に珍しい盆踊りで白石踊見学、体験ツアーも行われ観光客が多く訪れます。



## 灯台と水仙の島「六島」

笠岡市笠岡港から約22kmにあり、笠岡諸島最南端の島であるとともに、岡山県の最南端でもあります。六島の南約4.5kmにある香川県庄内半島三崎との間は、潮流の速い海峡で、瀬戸内海を横断する大型客船などの重要航路となっています。この航路の安全を守るため、六島には岡山県で最初に灯台が設置されました。



## 石と流し雛の島「北木島」

島では北木石とよばれる極めて良質の花崗岩が産出し、その石を利用して大坂城や福山城の石垣や明治神宮神宮橋、靖国神社の大鳥居などが造営されたほどの名石です。現在でも採石と漁業が主な産業です。



## 潮待ちと椿の島「大飛島・小飛島」

笠岡市笠岡港から約18kmにある島で、一般的に大飛島・小飛島をあわせて飛島と呼ばれます。笠岡諸島は古くから瀬戸内海の交通の要衝で、中でも大飛島付近は瀬戸内海の東西の潮が離合する場所といわれ、往来する船がこの地で潮待ちをしていたと考えられています。



## 歴史と映画の島「真鍋島」

笠岡市笠岡港から約18kmにある島で、島名は、真南辺の島、つまり備中国小田郡の南端にある島という意味で、後に真鍋の字をあてたと考えられています。平安時代末期に藤原氏の一族が水軍の根拠地を置いて、付近の島々を支配下に治めていたという説や、源平合戦で平家方に属した真鍋氏の城趾や供養のために建てたと伝えられる石造宝塔などの史跡があり、歴史を今に伝える記録や史跡・行事の多さは、笠岡諸島でも随一です。





# みなとオアシス笠岡諸島の魅力

参考：笠岡市観光連盟Webサイト

## 知る

- K's LABO (ストーンミュージアム)



- 白石踊 (白石島)



- 真鍋島ふるさと村資料館



大阪城や東京駅、日本銀行本店本館といった著名な建造物に使用されてきた「北木石」、国指定重要無形民俗文化財「白石踊」のほか、昔の島の生活を知ることが出来るスポットがたくさんあります。

各島を巡り、太古の昔から受け継がれてきた島の歴史、文化を是非学んでみてください。

## 味わう

- しまのこし (内陸部)



笠岡諸島の食材を使った食事を楽しんでいただきながら、島の魅力にも触れられる情報発信施設。

食事の提供だけでなく、全国のつながりのある島の特産品の販売、笠岡諸島の観光・宿泊情報提供など、島に足を運んでいただく準備・相談窓口としても利用できます。

## 見る

飛島は椿、高島はつつじ、六島は水仙と、笠岡諸島の島々では四季折々の花が見られ、花の名所を巡るツアーもよく開催されています。

- 椿 (飛島)



- つつじ (高島)



- 水仙 (六島)



- 走り神輿 (真鍋島)



- 流し雛 (北木島)



真鍋島の走り神輿、北木島の流し雛など、特色のある伝統行事も離島の魅力あふれるイベントの一つです。

## 遊ぶ

- シーカヤック体験 (白石島)



シーカヤックやウインドサーフィンなどマリンスポーツも体験でき、家族や仲間と楽しく海上散歩も楽しめます。

笠岡諸島は令和元年5月に丸亀市、土庄町、小豆島町の各島とともに「石の島」として日本遺産に認定されました。

## ✓日本遺産とは

日本遺産とは、文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、地域活性化を目指す取組です。

魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

令和元年5月に、笠岡市を含む2市2町（ほか香川県丸亀市、土庄町、小豆島町）が評価され日本遺産に認定されました。笠岡市においては笠岡諸島の「高島」・「白石島」・「北木島」・「大飛島」・「真鍋島」が認定されました。



## ✓瀬戸内海の石文化

瀬戸内備讃諸島の花崗岩と石切り技術は長きにわたり日本の建築文化を支えてきました。

日本の近代化を象徴する日本銀行本店本館などの西洋建築、また古くは近世城郭の代表である大坂城の石垣など、日本のランドマークとなる建造物が、ここから切り出された石で築かれています。島々には、400年に渡って巨石を切り、加工し、海を通じて運び、石と共に生きてきた人たちの希少な産業文化が息づいています。

世紀を越えて石を切り出した丁場(ちょうば)は独特の壮観な景観を形成し、船を操り巨石を運んだ民は、富と迷路の様な集落を遺しています。今なお、石にまつわる信仰や生活文化、芸能が継承されています。



北木島の丁場



## 交通アクセス

みなとオアシス笠岡諸島の代表施設である「笠岡諸島交流センター（みなとこばなし）」は、JR笠岡駅から200mの距離にあり電車、車でお越しいただけます。

○電車でお越しの場合  
JR山陽本線 笠岡駅より徒歩約3分

○車でお越しの場合  
山陽自動車道 笠岡ICより県道34号を經由し約10分（4.4km）

## 観光案内の問合せ先

【笠岡市役所商工観光課】 電話：0865-69-2147  
<https://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/30/>

【笠岡市観光連盟】 電話：0865-69-2147  
<https://www.kasaoka-kankou.jp/>

【代表施設 笠岡諸島交流センター】 電話：0865-63-3131

## 周辺の宿泊情報

笠岡港周辺のグルメや海の幸が楽しめるホテルや旅館、笠岡諸島各島の魅力を感じられる民宿、ヴィラなど、美しい景色を楽しみながら宿泊できる施設をご紹介します。

ぜひ、お気に入りの宿を見つけてみてください。

【笠岡市観光連盟】 電話：0865-69-2147  
<https://www.kasaoka-kankou.jp/purpose/stay>

